



令和4年2月1日

第 80 号

令和3年11月  
定例会の内容を  
お知らせします。

おもな  
内容

- P2 WEB de かがわ議会報告会
- P4 常任委員会 調査研究報告
- P6 会派代表質問
- P9 一般質問

- P13 意見書を提出
- P14 一般会計補正予算の概要／常任委員会 委員長報告
- P15 審議結果一覧
- P16 未来日誌／マニフェスト大賞／傍聴席／表紙の説明／編集後記



## Topic トピック



茶のみやきんじろう © 掛川市

～市民により開かれた議会を目指して～

令和3年度

## 「WEB de かけがわ 議会報告会」

## 多くの皆様のご視聴・ご意見 ありがとうございました。

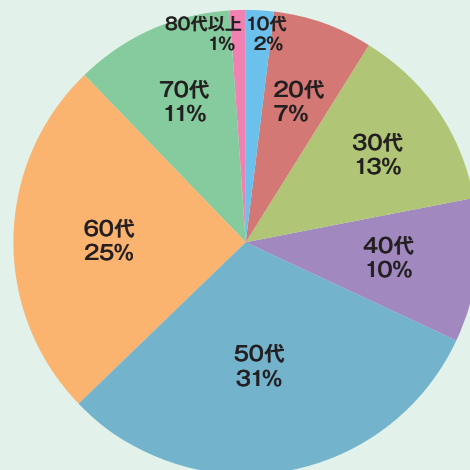
市民の皆さんに、掛川市議会がどんな活動をしているのか、また、市の重要課題にどう対応しているのかを知っていただくとともに、ご意見を伺い議会活動に活かすため議会報告会を行いました。

本年度も、新型コロナウイルス感染症の終息が依然として見込まれないため、会場開催を見送り、動画配信による「WEB de かけがわ議会報告会」という形で実施いたしました。

## □ アンケートの結果より

本年度で2年目となったWEB開催は11月末現在の延べ視聴者数は814人、アンケートの回答者数は97人でした。今までになかった10代・80代の回答があるなど幅広い年齢層に視聴いただきました。男性と女性の割合がほぼ同じでした。

いただいた皆様の声を活かしながら、年度末を目途に政策提言に繋げてまいります。



アンケートの年代別割合

## 全般的な感想や議会に関するご意見、ご要望について

- とても親しみやすく、わかりやすい内容と発表でした。委員会ごとに動画が分けてあり、再度視聴する際にも見やすいと感じました。議会や議員さんの思いがダイレクトに伝わるととても良い動画でした。
- WEBでの報告会は、日時場所を問わず視聴することができ、大変便利でした。各委員会のテーマはすべて大切なものだと思います。今後も市民に分かりやすく、より身近な存在になれるよう、活動をお願いします。
- 今回は中間報告ということなので、具体的に提案した方法での取り組みの結果を知りたいです。こういったことを、もっと簡潔にまとめ、短時間で説明してほしいです。
- 互いに意見交換ができる、対面方式の報告会に戻してほしいと思います。

## 各委員会の中間報告に対するご意見など

### 総務委員会

#### テーマ 近隣市町との連携による効果的な行政の在り方について

- 近隣市町との広域事業が想像していたよりも随分たくさんあることを知りました。内容も発表も分かりやすく勉強になりました。事業に合わせ、考え方や文化的な面の良いところの交流もできていくと良いと思いました。
- 広域化に伴い、様々な考え方が出てくると思います。市民のリアルな声と、現場の声を優先して改善していただきたいと思います。
- 市を超えた組織となることにより、市議会では質問できない。情報が十分に公開されないなど市民のチェック機能が弱くならないようにすべきだ。
- 広域化がなぜ必要なのか課題と受益をもっと具体的な例で挙げてもらいたい。



### 環境産業委員会

#### テーマ 掛川市のカーボンニュートラルに向けた意識改革

- とても大切なことだと思いました。まだまだ意識が低いです。次代の子ども達のために、気付き行動するために、もっと働きかけ、啓発してください。
- アンケート調査自体は良いのですが、市議会のおひざ元とも言える役所内の認識の低さに驚きました。まず、ここから意識を変え、全体としての取り組みにしていけることが必要です。
- 家庭において、どのようにすればCO<sub>2</sub>削減出来るのか具体策を教えてください。(省エネの見える化→実感が重要だと思うため)
- 企業活動にとっては、環境に対する意義は理解しながらも益々経費が掛かり、申請、登録などの業務が複雑、煩雑になり負担は増えるばかりと考えます。



### 文教厚生委員会

#### テーマ 子どもの貧困対策

- 子どもの貧困について、とても分かりやすかったです。「地域で気づく」ことのアプローチというか、座談会のようなものがあれば、もっとケアをしていける人が増えるのではないかと思います。
- 子どもの貧困率の高さにとても切なさを感じました。身近なところから言えば、地域のコミュニティ活動、企業の地域貢献活動等を盛り上げていきたいですね。
- 大変な家庭に対して、経済的な支援は勿論のこと、心のケアもしっかりしてもらいたい。スクールソーシャルワーカーやカウンセラーの増員は重要だと思う。また、就学支援の申請が困難な家庭もあるとの報告から、援助は学用品の現物を支給しても良いのではないかと思います。
- まとめでは、改善事項や子どもの居場所づくりとありましたが、内容はもっともです。掛川市議会はどんな支援等をするのか見ていきます。



「WEB de かけがわ議会報告会」は、引き続き視聴できますので、ぜひご覧ください。

◎アンケートは、11月末で締め切りました。ご協力ありがとうございました。

来年度以降は、会場開催と併せてネット配信するなど、より多くの皆さんに参加・視聴していただけるよう検討してまいります。



視聴はこちら▶



# 常任委員会 調査研究報告

～市民の皆さんのご意見を踏まえ活発な議論～

各委員会、1年間の研究テーマを定め、これまで積極的に調査研究を重ねてきました。また、「WEB de かけがわ議会報告会」では動画配信により、調査内容を市民の皆さんにお示しし、アンケート（P3 掲載）でご意見をいただきました。今回、その内容に基づき、市当局と議論する場として委員会協議会を開催いたしました。

## 環境産業委員会

委員長 藤原正光

### 掛川市のカーボンニュートラルに向けた意識改革

#### 協議会の主な内容

- ①市は専門部署として脱炭素推進課を立ち上げ、企業にアドバイスができる仕組みや体制づくりをすること
- ②環境政策課と産業労働政策課が連携し、企業誘致の際に設備投資補助をすること
- ③節電・節水やゴミの分別等によりCO<sup>2</sup>削減量を数値化することで、「見える化」し、意識啓発をすること
- ④企業に脱炭素系の設置を要請し、CO<sup>2</sup>排出量を「見える化」すること
- ⑤ゴミの分別、食べ物の処理を意識した、環境配慮型イベントをルール化すること
- ⑥市は事業の使用電源を100%再生可能エネルギーで賄うことを目指し、財政負担が増加してもグリーンエネルギーに変換していくこと、発想転換で新たな価値をすること



掛川市消費者協会との意見交換会

#### まとめ

今後は覚悟を持って取り組む必要があり、旗振り役が大事になってきます。子どもたちと共に「みんなの未来だ」というゴールを創るような提言ができるよう努めて参ります。



# 総務委員会

委員長 寺田幸弘

## 近隣市町との連携による効果的な行政の在り方について

### 協議会の主な内容

- ① 関係市町と「広域連携研究会」の立ち上げに向けて、連携市の絞り込みや庁内の研究会を立ち上げること
- ② 新エコポリス第3期工業団地造成工事について菊川市との共同開発などを目指し、対話を重ねること
- ③ 森掛川インターチェンジ周辺を森町と共同開発など、誘客にも役立つよう地域活性化を図ること
- ④ 中東遠市町共同利用の有害鳥獣処理施設の整備は喫緊の課題であるため早急に取り組むこと
- ⑤ 公共施設の予約システムの導入、相互利用などによりDXを推進し、単なるデジタル化の推進ではなく変革すること
- ⑥ 生涯学習等の共催・人材情報共有・医療情報啓発・婚活情報の共有などの事業により、市民ニーズに合ったソフト面の充実を図り、市民満足度を高める施策を打ち出すこと



掛川市選出県議との意見交換会

### まとめ

今後の人口減少社会を見据え、近隣市町と様々な分野で連携することは、市民生活・市民サービスの維持向上に繋がります。掛川市が中東遠地域を引っ張っていけるよう、より効果的な政策提言にまとめて参ります。

# 文教厚生委員会

委員長 嶺岡慎悟

## 子どもの貧困対策

### 協議会の主な内容

- ① 就学援助制度について、掛川市の就学援助率が全国平均より低く、制度を受けられるのに受けていない家庭がある可能性があるため、申請方法や周知方法を改善すること
- ② 学校の支援体制を拡充するため、ICT支援員や学校サポーター等の支援とのバランスを考慮しつつ、スクールソーシャルワーカーの増員をすること
- ③ 子どもの居場所の運営を取り仕切るキーパーソンの育成が重要であり、県や支援団体に任せるのではなく、もっと市がリードして取り組むこと
- ④ 第2次総合計画において、子どもの貧困対策の位置づけをもっと上げること



NPO 法人によるオンライン講義

### まとめ

掛川市の主要な施策として、子どもの貧困対策に取り組むよう総合計画の改定を当局に求め、支援制度の改善や子どもの居場所づくりの推進等を政策提言できるよう協議を深めて参ります。

## 会派代表質問

## Q &amp; A

## 会派代表質問を行いました

12月7日に、会派を代表して行う「代表質問」を行いました。「創世会」、「新しい風」、「市民派・公明倶楽部」、「共に創る掛川」、「日本共産党議員団」の5会派の代表議員が、市長の施政方針、新年度予算に関して質問しました。

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、会派代表質問の動画が視聴できます。

## 創 世 会

## 市長の所信表明の現時点での総括は

**Q** 3つの政治姿勢「対話重視」「未来志向」「柔軟思考」の現時点での自己評価を伺う。

政策を一定程度進めたが、今後  
も精進していく

**A** 「対話重視」については、コロナ禍の影響を受けたものの、多くの市民や団体と積極的に対話を行っています。「未来志向」「柔軟思考」については、新しい技術や考え方を取り入れた政策を一定程度進めることができていると自己評価していますが、今後も精進していきます。

## リニア中央新幹線工事の「水質の保全」への市長の見解は

**Q** リニア中央新幹線工事の着工に関して、水質への影響も懸念されるが、「水質の保全」に関して市長の見解を伺う。

JR東海に対し環境への影響に  
万全を期すよう求めていく

質問者

寺田 幸弘



**A** 「水質の保全」に関しては、トンネル湧水や水質管理の問題があり、JR東海は対策を講じ、モニタリングを行うとしています。市としては、今後も県や流域市町と連携し、JR東海に対し、水資源の確保や「水質の保全」を含む環境への影響に万全を期すよう求めていきます。



リニア中央新幹線  
掘削工事予定地

## 海岸防潮堤の今後の見通しは

**Q** 南部地域の人口流出抑制や工場誘致を促進するためにも、海岸防潮堤完成の更なる前倒しが必要と考えるが、今後の見通しについて伺う。

「令和6年度末、進捗率80%」  
の達成を目指す

**A** 令和3年11月末時点で進捗率は52%です。課題は多くありますが、令和6年度末、進捗率80%を目指し事業を推進していきます。



## 新しい風


 質問者  
 嶺岡 慎悟


## 令和4年度予算の目玉は

**Q** 令和4年度は、コロナ禍を乗り越え一気に羽ばたく予算編成が必要である。令和4年度の目玉の予算を伺う。

一步先の未来を見据えた事業の推進に取り組んでいく

**A** 「令和4年度当初予算編成方針」では、新型コロナ対策のほか、市民生活支援、DX推進等を重点施策に位置付けています。持続可能なまちの実現に向けて、一步先の未来を見据えた事業を推進できるよう予算編成に取り組んでいきます。

## 将来の耕作放棄地対策を

**Q** 掛川市はお茶と水稻の後継者不足が特に深刻であり、今後耕作放棄地も一気に広がる事が予測される。市が現状を分析し強いリーダーシップを持って進めていくべきと考えるが見解を伺う。

関係者と話し合いを重ね、支援制度の周知を行っていく

**A** 市では、人農地プランの実質化を進める中で、関係者と話し合いを重ねています。農業者などの意欲を引き出すことで後継者不足、耕作放棄地拡大の解決へ繋げていきます。

また、国県の支援制度の周知、活用を推進していきます。



## 駅南地域の学校整備は

**Q** 人口が急速に増加している駅南地域には小・中学校が無い。今後の学校再編計画において、駅南の小中一貫校の整備について考えを伺う。

市全体の学校の適正規模、適正配置を検討している

**A** 駅北地域にある第一小や中央小に通う多くの児童が駅南地域在住となり、設置された時と状況が大きく異なっています。学校再編計画では、市全体の学校の適正規模、適正配置を慎重に検討しています。

## 【その他の質問事項】

・ 所信表明について  
 ・ 多様性社会について

## 市民派・公明倶楽部


 質問者  
 窪野 愛子


## 掛川区域公立幼稚園2園の認定こども園化は

**Q** 保育園の入園希望が増加する中、公立の三笠幼稚園とさかがわ幼稚園は定員割れの状態である。2園の認定こども園化に向けた取り組みを伺う。

民間譲渡・認定こども園化を含め、在り方を検討する

**A** 2園については、令和10年までを検討時期とし、「民間譲渡・認定こども園化を含め、在り方を検討する」としています。地区住民から御意見等をいただき、子どもの人口推移と教育・保育需要の動向を踏まえ、将来の在り方を検討していきます。

## 認知症に対する不安のないまちの構築へ施策の充実を

**Q** 令和4年に本市の高齢化率は27.7%、令和7年に約5人に1人が認知症を発症するといわれている。認知症に対する施策の充実について伺う。

認知症施策の更なる充実に努めていく

**A** 令和3年3月策定の「第8期介護保険事業計画」に基づき、市では相談体制の充実など総合的に施策を推進しています。今後も、認知症施策の更なる充実に努めていきます。条例制定については、先進自治体等の状況をみながら、調査研究していきたいと考えています。

## 掛川駅南北通路ほのぼのパスエレベーターの整備は

**Q** 掛川駅ほのぼのの通り、南口階段には昇降機が設置されているが、使用頻度は今一つである。多様性に配慮したエレベーターの整備について伺う。

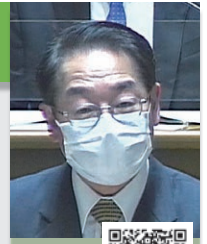
## 令和4年秋の着工を目指す

**A** エレベーターは令和2年度より関係機関と協議しながら、設計業務を実施しており、令和4年秋の着工を目指して、事業を進めています。



エレベーターの設置が待たれる掛川駅南口

## 共に創る掛川



鈴木久裕

質問者

久保田市政のもとでの  
総合計画の在り方は

**Q** 総合計画の基本構想を3年続けて改定するなど前代未聞である。今年春に定めればかなりの将来人口まで見直すくらいなら、松井市政のもと策定した第2次総合計画再改定版の再焼き直しではなく、久保田市長の方針や施策の考えをしっかりと織り込んで、改めて第3次総合計画として策定していくべきではないか。

**A** 昨年度、「第2次総合計画基本構想」を改定しました。今年度も、コロナの影響が長期化する中、変化する状況を的確に捉え、基本構想の「7本の戦略の柱」を軸に、将来人口なども含めて、ポストコロナ社会のまちづくりに向けた計画の改定を進めていきます。

## 都市計画道路「掛川東環状線」の整備は

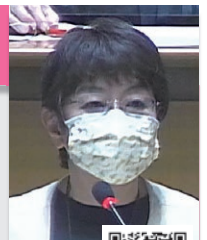
**Q** 東環状線は東名掛川ICと国道1号千羽インターを結ぶ4車線の道路で、市内外の交通利便性向上や既存道路の渋滞回避、周辺土地利用の増進など、市の発展に大きく寄与する。今こそ思い切って事業化すべきではないか。

**A** この路線の整備には莫大な事業費が想定されており、慎重な判断が必要と考えています。令和4年度から、県が主体となり、総合都市交通体系調査を予定しており、令和6年度にかけて、都市交通マスタープランを策定していきます。この計画にあわせ、必要性、緊急性や、事業効果を広域的な視点から総合的に評価し、事業化の可否について判断していきます。

## 【その他の質問事項】

・中心市街地の活性化について

## 日本共産党議員団



勝川志保子

質問者



## 誰ひとり取り残さないSDGsとするため温かな福祉政策を

**Q** 格差と貧困の解消には、生活困窮者を取り残すことのない様に福祉政策を温かく運用する事が大切ではないか。

**A** 市民が相談しやすいように、市のホームページ等の見直しを行いました。今後も関係各課や関係機関と連携を取り、各種支援制度を活用し、相談者の自立支援を図りながら、誰ひとり取り残さない支援に努めていきます。

## 環境破壊を許さないSDGsの推進を

**Q** 土台となる環境も守り総合的な目標達成をするため、ゾーニングや規制もしながらの地域資源の利活用が必要ではないか。

国の基準を確認し研究していく

**A** 現在、法令等に基づき、生活環境や自然環境等の保全に十分配慮するよう、事業者へ指導を行っています。国において促進区域を定める基準等について議論が行われており、省令やマニュアルが示される予定ですので、その内容を確認しながら、ゾーニングや規制について研究していきます。

## 企業だけでなく市民参画を大切にしたいパートナーシップを

**Q** SDGsの多角的展開を図るためには行政、市民団体、地域、個人などが積極的に知恵と力を発揮できるプラットフォームが要だと考えるがいかがか。

**A** 市民参画によりSDGsの取り組みの活性化を目指す

市や企業がプラットフォームで共創していく取り組みの中で、市民団体や地域、個人にも様々な形で参画していただき、持続可能なまちづくりに向けた取り組みの活性化を目指していきます。



SDGsのウエディングケーキ図



QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問の動画が視聴できます。

創世会  
山本裕三各自治区にポータブルソーラー  
パネル及び蓄電池の配備を

Q

2018年10月台風24号により市内全域で大停電が発生した際、携帯電話や情報機器の充電に市民は苦慮をした。防災用タブレットが各自治区に配備されている当市において、携帯やタブレットの充電用にポータブルソーラーパネルと蓄電池の配備が必要と考えるが見解を伺う。



ポータブルソーラーパネル、蓄電池使用例

A

令和5年度から補助金対象品  
目に加えることを検討する

防災用タブレットを全ての自主防災会へ配備したこともあり、充電等に利用できるポータブルソーラーパネルや蓄電池は災害時に有効であることから、令和5年度から自主防災会補助金対象品目に加えることを前向

きに検討していきます。

民間宿泊施設を福祉避難所  
として利用すべきでは

Q

熱海市伊豆山土砂災害では、ホテル避難が感染症対策においても有効であったとされている。ホテルや旅館を、障がい者等要配慮者の方向けの災害時福祉避難所として利用を拡大する必要があると考えるが見解を伺う。

組合と協定を締結しており福祉  
避難所として利用していく

A

掛川市と同様に静岡県も静岡県同業組合と協定を締結しており、協定の用途は福祉避難所として使用することとなっています。状況に応じて駅周辺の宿泊施設については帰宅困難者や応援要員の利用、バリアフリーが整っている旅館やホテルは、福祉避難所として利用するなど、柔軟な対応を考えています。

## 【その他の質問事項】

・人口増に向けた観光、産業政策について

創世会  
藤原正光地域防災力の中核を担う  
消防団の充実強化策は

Q

ラッパ隊を本部付にして、趣味や得意分野を活かした、楽器演奏のできる機能別団員で構成し、式典や消防団のPR広報に専任することができないか伺う。

負担軽減を考慮し団本部と  
協議していく

A

現在、ラッパ隊員の主な任務は式典での演奏で、日ごろは各分団で活動しています。選出された団員は、ラッパの合同訓練のほか、式典での技術的なプレッシャー、さらに分団活動との両立など、大きな負担であると認識しています。これらラッパ隊員の負担軽減を考慮すると、ラッパ演奏に興味がある方に、機能別消防団員として入団いただく提案について団本部と協議していきます。

効率的で効果的な消防行政  
の運営を

Q

消防署の施設配置により、救急出動の現場到着時間に偏りがある。今後、高齢者の搬送割合も増加し、更なる救急需要が見込まれるが、救急行政の充実強化に向けた対策を伺う。



今後の境界付近の対応が注目される消防行政

専従救急隊を増隊し体制の  
充実強化を図っている

A

掛川市は、面積が大きく人口の分布が広範囲におよび各消防署から離れているため、時間がかかる地域があります。救急業務は需要が多く、市民にとって身近で重要な行政サービスですので、本年度から中央消防署へ救急係を新たに新設し、専従救急隊を増隊して、体制の充実強化を図っています。

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問の動画が視聴できます。

Q

脱炭素化社会の実現に向けて、家庭への啓発による行動

環境教育から脱炭素社会を

A

本年度、シニアクラブ、社会福祉協議会、市の三者で「シニアクラブ在り方意見交換会」を立ち上げました。時代に合った形をともに考え、高齢者の生きがいと健康づくり等が推進され、福祉向上が図られるよう、引き続き支援をしていきます。

令和の時代に合った形をともに考えていく

Q

超高齢社会となり、高齢者の割合は増加しているが、シニアクラブのクラブ数や会員数が減り、存続が厳しい団体も現れ始めている。シニアクラブの今後の方向性について伺う。

シニアクラブの今後の方向性は

創世会  
山田 浩司



アース キッズチャレンジ

教育委員会と連携して環境教育に努める

A

小中学校の児童や生徒を対象に、事業者や学識経験者を講師として「環境学習講座」を実施しており、本年度は13校18講座を実施しました。10月には上内田小学校において、地球温暖化防止の体験学習「アース・キッズチャレンジ」を市内で初めて静岡県地球温暖化防止活動推進センターと共催で実施しました。今後も教育委員会と連携して受講する学校の拡大に努めていきたいと考えています。

変容が必要であり、そのためには学校現場での環境教育が非常に重要である。学校の負担を増大させない手法による環境教育ができないか伺う。

創世会  
高橋 篤仁



中山間地域への移住定住策は

Q

中山間地域への移住定住を勧めるには、空き地と農地がセットで取得できる制度の構築が有効と考えるが見解を伺う。

農業委員会と協議し特例制度の検討をしていく

A

県内では空き家とセットなどで農地取得の下限面積引き下げの特例を設けている市町は8市町あります。令和2年度に特例を利用した申請は、浜松市で5件、島田市で4件あったのとこので、一定の成果が見込めるものと考えています。今後、農業委員会とも協議して、制度の検討をしていきます。



市独自の移住支援策は

Q

掛川市独自の支援策を講じ、掛川市公式ホームページ内の移住情報において周知すべきと考えるが見解を伺う。

移住希望者への支援策をわかりやすく情報発信していく

A

市のホームページでは、トップページに「移住情報」を特出しし、移住希望者の目に触れやすいように工夫しています。また、掛川市公式LINEのセグメント配信において、移住定住の情報を選択できるものになっています。掛川市独自の支援策としては、「子育て世代向け認定住宅供給事業」を実施しています。移住希望者への支援策については、ホームページに掲載していますが、より一層わかりやすい情報発信に努めます。





QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問の動画が視聴できます。

共に創る掛川  
富田まゆみ

## 原子力災害時の広域避難行動の周知を

**Q** 市民の原子力災害広域避難を確かかなものとするためには、自治区ごとの避難の流れ、避難先、避難経路所、想定される避難経路をわかりやすく図にまとめ、全世帯に配布することが効果的と考えるが見解を伺う。

## リーフレットなどの全戸配布を検討していく

**A** 原子力市民学習会を各地域で順番に実施しています。今後は18避難単位ごとに、避難の流れ、避難先、避難経路所、想定される避難経路をわかりやすくまとめたリーフレットなどを避難先の市町村ごとに作成し、全戸配布することを検討していきます。また、各地区単位でワークショップを実施し、原子力広域避難についての課題解決に向けて、意見交換をして

いきたいと考えています。

## 外国人児童生徒の初期支援の充実を

**Q** 本市の外国人就学の初期支援を担っているNPO法人静岡県教育フォーラム「虹の架け橋」が、今後も継続して充実した活動を行うためには、さらなる支援をすべきと考えるが見解を伺う。



## 事務局である菊川市を中心に今後の在り方を検討していく

**A** 「虹の架け橋」による日本語初期指導は、来日間もない外国籍児童生徒にとって大変有意義であるため、事務局である菊川市を中心に今後の在り方を検討しています。また、県に対して引き続き補助金の創設を要望していきます。

## 【その他の質問事項】

・プロフェッショナル人材の公募と本市の課題及び市政の方向性について

新しい風  
橋本勝弘

## 経済波及効果分析の必要性は

**Q** 都市計画マスタープラン策定には「上西郷地区整備推進事業」や「新東名第2PA」、「スマートIC」の3事業の経済波及効果分析が必要と思うが実施する考えはないか伺う。

## 事業の進捗状況に応じて、経済波及効果の分析を検討する

**A** 都市計画マスタープランの北中学校区地区別構想策定の際は、上西郷地区整備推進事業と、倉真第2PAの経済波及効果分析も有効だと考えています。しかし、現在、両事業とも事業実施には至っておらず、具体的な施設計画も決定していませんので、事業の進捗状況に応じて、必要な時期に経済波及効果の分析を検討していきます。

## 粟ヶ岳山道の早急な安全対策を

**Q** 観光素材としても重要な粟ヶ岳については、山道の安全対策を早急に講ずるべきであるが見解を伺う。

## 利用しやすい安全に通行できる道路整備を進めていく

**A** 市道粟ヶ岳登山道線については、勾配の緩和や幅員の拡張など、大規模な道路改良による安全対策は困難な状況です。しかし、少しでも安全に通行できるよう、毎年、地元と協議のうえ、側溝への蓋掛けやガードレール構造の変更等による車両通行帯の拡幅などを実施していきます。粟ヶ岳へ訪れる方々の観光道路として、また、地元住民の生活道路として重要路線でありますので、今後も、利用しやすい安全に通行できる道路整備を進めていきます。



QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問の動画が視聴できます。

日本共産党  
議員団

大井 正

**デジタル業務の標準化にあたって個人情報保護を****Q** 政府の「デジタル化指針」によれば、本人同意を前提とし

つつも、個人情報の連携・集約・利活用の促進をするところがあるが、個人情報保護は何を根拠にどのような担保されるのか伺う。

**条例に基づき個人情報保護を適正に取り扱っている****A** 掛川市は、「掛川市個人情報保護条例」に基づき、取

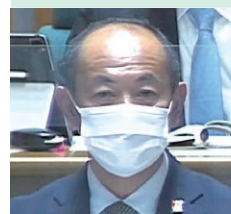
得した個人情報を利用する際の市民の負担軽減や取扱いの効率化を図るため、保有する個人情報を市役所内部で利用すること、あるいは市役所以外に提供を行うことを認めるための規定を設けています。また、違反した場合の罰則を整備するなどし、保有する個人情報の適正な取扱いと、その実効性を担保しています。

**各種専門職の採用と熟練職員の育成を****Q** デジタル化を推進するならば各セクションから専門的で正確なデータが出される必要がある。

各分野の専門職や熟練職員を採用・育成すべきと考えるが所見を伺う。

**多様な人材を採用し新たな成長を支援していく****A** DXなど新たな課題や多様な・複雑化する行政課題に

対応するためには、専門性を持った人材も必要だと認識しています。職員採用においては、DXに関連する職種を含め、順次専門職種を増やすなど、多様な人材の採用を実践しているところです。また、育成面においては、実務経験を積み、新たな成長を支援できるような制度やしぐみの充実を図っています。

新しい風  
松浦昌巳**観光客へ心を込めた「おもてなし」を****Q** 宿泊やレジャーで掛川市に来て頂いた観光客に対し、感謝

の意を込めて、「おもてなし」が必要と考えるが見解を伺う。

**より居心地良くお迎えできる環境・体制づくりを進める****A** 市内外を問わず観光客の皆様は、お客様の視点に立ち、

より必要な情報の提供を心掛け、「おもてなし」の精神での対応に努めています。また、市内の観光ボランティアガイドの皆さんの御協力をいただき、引き続き、お客様を温かいおもてなしで迎えするとともに、今後はさらに、掛川市を選んでお越しただいた感謝の意を込めて、より居心地良くお迎えできる環境・体制づくりを進めていきます。

**食を通して子どもたちに環境教育を****Q** 子どもたちにとって身近な給食の食べ残り（食品ロス）を、

教育の場で環境と結びつけていくべきと考えるが見解を伺う。

**様々な場面で食と環境をつなげて学んでいる****A** 食と環境をつなげて学ぶことは大切であり、様々な場

面を取り組んでいます。例えば、栄養教諭が各校の学級活動において「給食の大切さ」について授業を行っています。小学校や中学校の家庭科でも学習しています。今後も身近な生活の中にある課題を取り上げながら、自分たちにできることを考えたり、家庭へ啓発したりしていきます。

**【その他の質問事項】**

・松ヶ岡の活用方法について



QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問の動画が視聴できます。

志誠会

草賀 章吉



### 環境資源ギャラリーの新施設 建設方針と地元説明は

**Q** 「廃棄物処理施設整備等基本構想」では、産業廃棄物の処理も併せた施設となる公民連携方式の案を優先的に検討されているが、地元説明内容と住民意見はどのようなものか。

### 今後も地元へ説明をしていく

**A** 令和3年1月15、16日に満水区へ「廃棄物処理施設整備等基本構想に関する説明会」を開催し、基本構想策定の経緯と検討結果を報告しました。今後、第一優先方式である公民連携方式について、実現の可能性があると判断されれば、改めて地元の皆様へ説明するとともに、広く情報発信したいと考えています。

### 捕獲有害鳥獣の処分施設の 市内設置方針は

**Q** 有害鳥獣の捕獲後の処分には猟友会の皆さんが大変苦慮している。処分方法については、化学的に水とガスに分解し、自然に還す減容化施設もあるが、掛川市における研究状況を伺う。



藤枝市有害鳥獣減容化施設

### 藤枝市を参考に研究・検討をしていく

**A** 今年度、藤枝市に有害鳥獣減容化施設が設置されたこととの情報は得ていますが、これまで焼却処理で問題が無かったため、研究、検討は行っていないでした。今後、藤枝市に設置された施設やその他の処理方法などを参考に、研究・検討をしていきたいと考えています。

### 【その他の質問事項】

・市長の政治姿勢について

## 横須賀高等学校の存続を求める意見書を提出

掛川市議会では、令和3年12月23日に以下の意見書の提出について全会一致で可決しました。

### 横須賀高等学校の存続を求める意見書（要旨）

静岡県及び同教育委員会においては、コロナ禍を経て、第3次県立高等学校再編計画発表時と社会情勢の変化を鑑み、存続を願う地元の意を汲んで、再編計画の一部を修正し、横須賀高等学校を存続するよう強く要望する。



横須賀高等学校

## 令和3年度一般会計補正予算(第11号・第12号・第13号)の概要

|         |                                                           |
|---------|-----------------------------------------------------------|
| 補正額     | (第11号) 10億3,664万円<br>(第12号) 5億1,469万円<br>(第13号) 26億 634万円 |
| 補正後の予算額 | 551億8,256万円                                               |

| 第11号及び第13号補正                                                                                                                                                                    | 第12号主な補正                                                                                                                                                          | 第13号主な補正                                                                                                                                                                          |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費追加・増</b><br><b>20億6,624万円</b><br>高校生相当年齢以下の者がいる子育て世帯に対し、児童1人あたり10万円を給付  | <b>掛川市・菊川市衛生施設組合負担金費増</b><br><b>9,679万円</b><br>リサイクルプラザ火災による不燃ごみ・粗大ごみの外部搬出処理費用  | <b>住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費追加</b><br><b>15億5,311万円</b><br>住民税非課税世帯及び家計急変世帯に対し、1世帯あたり10万円を給付  |

## 常任委員会 委員長報告

令和3年度補正予算関係議案などを、3つの常任委員会に付託し、審査を行いました(質疑より抜粋)

|                            |                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                  |
|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>文教厚生委員会</b><br>委員長 嶺岡慎悟 | <b>障害児通所給付費について</b><br><b>Q</b> 障害児通所給付費の一般財源の増額理由を伺う。<br><b>A</b> 放課後等デイサービスなどの利用者の増加や1人あたりの利用日数の増に加え、新規事業所の参入や単価改正により扶助費が増大しているためです。                                                   | <b>3回目のワクチン接種について</b><br><b>Q</b> 65歳以上の方に対する3回目のワクチン接種は、前回の反省点を踏まえ、どのような対応となるのか。<br><b>A</b> 集団接種会場で接種された65歳以上の方には事前に場所と日時を指定して通知し、予約しなくても接種できるようにしたいと考えています。   |
| <b>環境産業委員会</b><br>委員長 藤原正光 | <b>森の都ならこの里の指定管理者について</b><br><b>Q</b> 指定期間2年の根拠を伺う。<br><b>A</b> ならここを中心とした原泉地区全体の更なる活性化を目的に、丁寧かつ円滑な民間譲渡を進めるにあたり、2年間で様々な調整作業を終えることができると判断し2年としました。                                        | <b>掛川市再開発住宅の指定管理者について</b><br><b>Q</b> 指定管理をするメリットについて伺う。<br><b>A</b> 県営住宅142団地すべての管理をしている実績を持ち、365日・24時間の対応、緊急時での迅速対応、5カ国語対応、高齢者に電話で安否確認の独自サービス等、多くのメリットを感じています。 |
| <b>総務委員会</b><br>委員長 寺田幸弘   | <b>財政調整基金等積立金費について</b><br><b>Q</b> 財政調整基金を繰り入れての補正予算編成であるが、今後、国庫補助金等により基金が補填される見込みはあるのか伺う。<br><b>A</b> 今後、国の補正予算による交付金等の追加交付が見込まれますが、まずは、各事業の財源として活用することが想定されるため、財政調整基金の回復にまで繋がるかは、不明です。 | <b>救急活動費について</b><br><b>Q</b> 医療廃棄物の処理の委託先及び処理の流れについて伺う。<br><b>A</b> 静岡市内の業者に委託しており、段ボール1箱程度の回収ボックスが一杯になったら、その都度、回収に来るという流れになっています。                               |



## 11 月定例会における審議結果一覧

### ■全会一致で可決・同意

|        |                                     |
|--------|-------------------------------------|
| 予<br>算 | 令和3年度掛川市一般会計補正予算(第11号)について          |
|        | 令和3年度掛川市一般会計補正予算(第13号)について          |
|        | 令和3年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2号)について  |
|        | 令和3年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第2号)について       |
|        | 令和3年度掛川市水道事業会計補正予算(第1号)について         |
|        | 令和3年度掛川市公共下水道事業会計補正予算(第2号)について      |
|        | 令和3年度掛川市農業集落排水事業会計補正予算(第2号)について     |
|        | 令和3年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業会計補正予算(第1号)について |

|        |                                     |
|--------|-------------------------------------|
| 条<br>例 | 掛川市手数料条例の一部改正について                   |
|        | 掛川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について |
|        | 掛川市特別職の職員で常勤のものの給料等に関する条例の一部改正について  |
|        | 掛川市教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について     |

|             |                                    |
|-------------|------------------------------------|
| そ<br>の<br>他 | 掛川市・菊川市衛生施設組合規約の変更について             |
|             | 字の区域の変更について(板沢地区)                  |
|             | 公の施設の指定管理者の指定について(掛川市清水邸)          |
|             | 公の施設の指定管理者の指定について(遠州南部とうもんの里総合案内所) |

|        |                          |
|--------|--------------------------|
| 人<br>事 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて |
|--------|--------------------------|

|        |                            |
|--------|----------------------------|
| 議<br>発 | 「横須賀高等学校の存続を求める意見書」の提出について |
|--------|----------------------------|

### ■賛否の分かれた議案(賛成多数可決)

○賛成 ×反対 -欠席

| 議 案 名                            | 議 員 名 | 創 世 会 |     |      |      |      |      |      |      | 新しい風 |      |      |      | SKK＊ | 共産＊  | 共掛＊  | 志＊   |     |       |      |       |
|----------------------------------|-------|-------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-------|------|-------|
|                                  |       | 松本均＊  | 安田彰 | 石川紀子 | 鷲山記世 | 高橋篤仁 | 山田浩司 | 藤原正光 | 寺田幸弘 | 山本裕三 | 二村禮一 | 橋本勝弘 | 松浦昌巳 | 嶺岡慎悟 | 藤澤恭子 | 窪野愛子 | 山本行男 | 大井正 | 勝川志保子 | 鈴木久裕 | 富田まゆみ |
| 令和３年度掛川市一般会計補正予算（第12号）について       |       | ○     | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ×    | ×   | ○     | ○    | ○     |
| 令和３年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について  |       | ○     | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ×    | ×   | ○     | ○    | ○     |
| 公の施設の指定管理者の指定について（掛川市森の都ならこの里）   |       | ○     | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ×    | ×   | ×     | ×    | ○     |
| 公の施設の指定管理者の指定について（掛川市再開発住宅）      |       | ○     | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ×    | ×   | ○     | ○    | ○     |
| 公の施設の指定管理者の指定について（掛川市住環境整備モデル住宅） |       | ○     | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ×    | ×   | ○     | ○    | ○     |
| 掛川市職員の給与に関する条例等の一部改正について         |       | ○     | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ×    | ×   | ○     | ○    | －     |

### ■賛否の分かれた議案(賛成少数否決)

|                                   |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|-----------------------------------|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 公の施設の指定管理者の指定に対する修正案(掛川市森の都ならこの里) |  | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
|-----------------------------------|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

\*議長(松本 均)は、採決には参加しません \* SKK ▶市民派・公明倶楽部 共産▶日本共産党議員団 共掛▶共に創る掛川 志▶志誠会

## 未来日誌

## 2月

- 4日(金)9:00 ○全員協議会  
22日(火)9:30 ○本会議(開会、議案の提案説明)  
24日(木)9:30 ○本会議(議案の提案説明)

## 3月

- 1日(火)9:30 ○本会議(令和3年度関係議案質疑  
～委員会付託)

本会議終了後 ○常任委員会(議案審査)

9日(水)9:30 ○本会議(令和3年度関係議案委員  
長報告～採決)

10日(木)9:00 ○本会議(一般質問)

11日(金)9:00 ○本会議(一般質問)

14日(月)9:00 ○本会議(一般質問、令和4年度関係  
議案質疑～委員会付託)

本会議終了後 ○常任委員会(議案審査)

15日(火)9:30 ○常任委員会(議案審査)

24日(木)9:30 ○本会議(令和4年度関係議案委員長  
報告～採決、閉会)

※1月6日現在の予定です。今後変更される可能性がございます。

## 第16回マニフェスト大賞「エリア選抜」に選出されました！



掛川市議会の「テーマ制による常任委員会の調査研究と市民参画型の政策立案サイクル」の取り組みが、全国2,730件の応募の中から、165件のエリア選抜(優秀賞候補)に選ばれました。詳細については、ホームページをご覧ください。

※マニフェスト大賞とは…地方自治体の議会・首長等や地域主権を支える市民等の、優れた活動を募集し、表彰するものです。

## 検索方法

掛川市議会 マニフェスト大賞

検索

右記QRコードからもご覧いただけます！



## 編集後記

本年10月より掛川市議会もタブレットが導入され、デジタル化が進んでいます。デジタル化の一方で、アナログや紙の魅力も改めて感じています。紙をめくる感覚も、とても心地よく風情がありますね。この議会だよりも、紙面とホーム

## 傍聴席

- ・傍聴のたび思うこと。  
課題が多岐に渡るためか、質問↓回答のやり取りが不十分なまま終わる場合がしばしばで、非常にもったいない。質問の仕方にも工夫がいるし、答える側もより具体的に。日数や持ち時間の増加も必要では？
- ・「協働」にはコーディネーターが不可欠。市職員含めそれができる人材育成について、議会でも議論して欲しい。
- ・市民に市政への関心を持つてもらうには、決定のプロセスに市民が加わる仕組みが必要と思う。政策作りの議論を公募の市民と一緒に進んでいる先進事例もある。
- ・過去のこの欄に建設的な提案が複数あったが、あまり採用されていなくて残念。傍聴アンケートなどぜひ！

藤田理恵(小貫区)

## 今号の表紙

今号の表紙は、掛川工業高校環境整備科3年相曽鼓太郎さんの作品です。



この作品は「賑やかな掛川」をイメージしました。掛川花鳥園のオオハシやハシビロコウを描いたり新幹線を描いたり、情報量の多い作品を作るために一つの絵を小さくしてたくさんイラストが入るように工夫をしました。もっと掛川が盛り上がって楽しい街になってほしいという気持ちでイラストを描きました。



相曽鼓太郎さん  
(掛川工業高校)

ページの双方からご覧いただけますが、どちらもありやすく温かみを感じられるように、市民のみなさまを思い作っています。  
寒い日が続きますが、みなさまの心も温まります様、メンバー一同努めて参ります。

議会だより編集分科会

委員 藤澤恭子

